

日本下水道事業団

(株)安藤・間

サイトセンシング(株)

### 1. 共同研究の目的

最近目覚ましく発展する三次元モデル化技術を用いて、下水道コンクリート構造物に対する一般的な出来形検査の手法を抜本的に改善し、効率的な出来形管理システムを開発する。

### 2. 共同研究の期間

平成 28 年 7 月 22 日～平成 29 年 3 月 31 日

### 3. 研究の概要

#### (1) 次世代出来形管理システムの概要

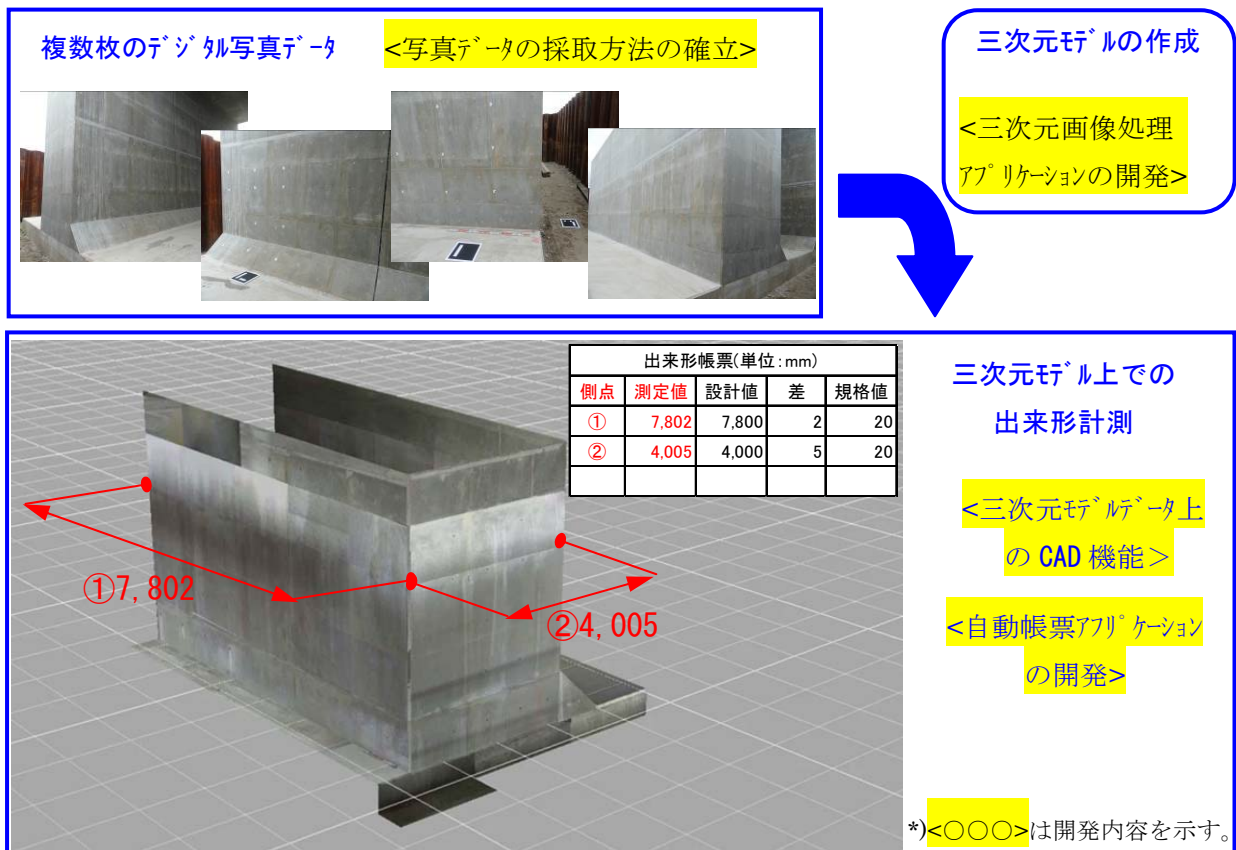


図 1 次世代出来形管理システムのイメージ

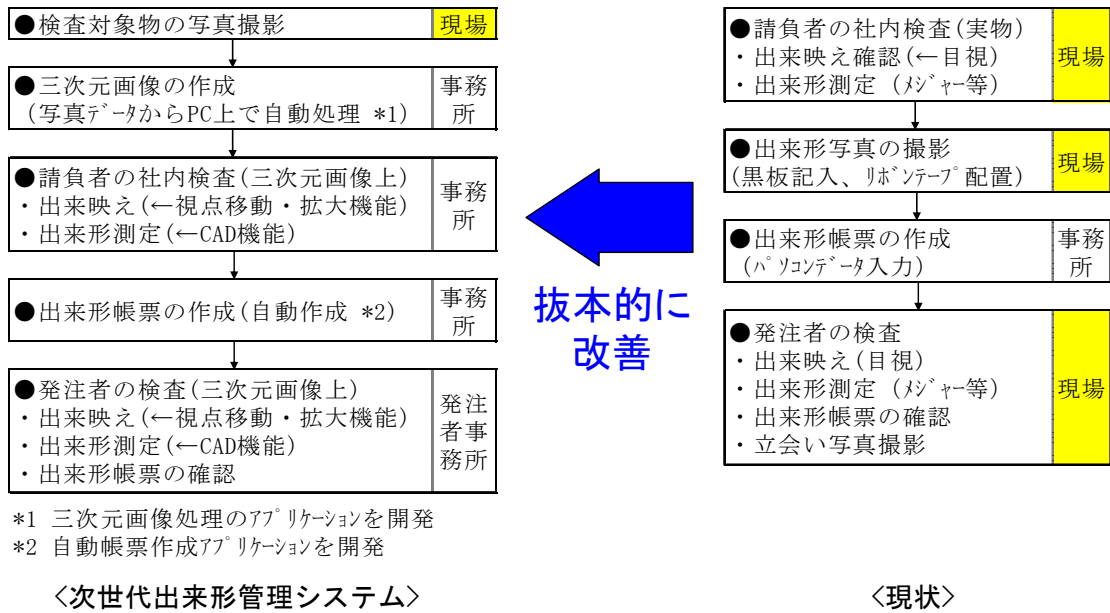


図2 現状の出来形管理システムとの比較

(2) 期待される効果

① 施工者の省力化

一人でのパソコン作業が主となるため、現状の現場作業の大幅な省力化が図れる。

② 発注者の省力化

発注者側の監督員が、発注者事務所で出来形検査を実施できる。

③ 安全性の向上

高所、危険箇所での出来形検査を行う必要がなく、安全性が向上する。

④ 不可視部の可視化

三次元モデル化により、不可視部の確認と測定が可能となる。

⑤ 維持管理の高度化

維持点検時に三次元モデルを作成し、完成時モデルと重ね合わせれば、劣化程度が一目瞭然となる。

[問合わせ先] 日本下水道事業団 技術戦略部 技術開発企画課  
 TEL 03(6361)7849 FAX 03(5805)1828  
 株式会社 安藤・間 土木事業本部 技術第二部  
 TEL 03(6234)3672 FAX 03(6234)3704  
 サイトセンシング株式会社 開発部  
 TEL 03(5577)3375

[H28.9.1 作成]